



三川内の秋を満喫しました

11月25日（日）、天候にも恵まれポカポカ陽気の中、「三川内さるく」が行われました。今年は地域の方や地域外からの参加者を併せると130名ほどの参加でした。私は、奥野先生とチームを組み、10キロの「チャレンジコース」を歩いてきました。今年のクイズは難しく、二人合計110歳コンビでは、頭が固く柔らかい考え方ができずほとんどわからなかったのが悔しかったです。馬責方面を歩いていたら、前方の3年生のあるチームが何かをしています。よく見るとゴミを拾っていました。しかも一人ではなく何人も。「誰かに言われたと？」と聞いてみると「いいえ。自分たちで自主的にしています」とのこと。すばらしいなと感動しました。ゴミを手いっぱい持っていたので、奥野先生から「道端に置いておきなさい。あとで自分が拾って帰るから」と言っていたら、最後は奥野先生に処分していただきました。2時間ほど歩いてゴールをした後は、お米がつやつやしているおにぎりとお肉汁をいただきました。とてもおいしかったです。お陰様でお腹もいっぱいになり、さわやかな晩秋の半日を満喫しました。

お世話をいただいたPTA 役員の皆様、三川内自治協議会の皆様を始め、ご協力いただいた保護者の皆様、すべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

トライやる発表会

11月30日（金）はトライやる発表会でした。最初の文化芸術部の発表では、「未来へ」を琴で合奏した後、リコーダーアンサンブルで「ピタゴラスイッチ」を披露してくれました。息の合った9名の演奏で、今年の「トライやる発表会」が始まりました。生徒会からは、「なんだこれミステリーin 三川内」と題して、三川内中学校の紹介や三川内に関するクイズを趣向を凝らして出題し、会場をとて盛り上げてくれました。1年生は、初めての発表でしたが、寸劇を交えながらの発表で、ふるさと歴史発見学習でお世話いただいた祖谷さんもとても喜んでいらっしゃいました。2年生はそれぞれが体験した職場のことをスライドを使って分かりやすく説明してくれました。職場体験で学んだことを今後に生かして欲しいと願います。3年生は、福祉体験学習で学習した内容や修学旅行でのインタビューの様子などを寸劇を交えながら発表してくれました。どの発表も工夫を凝らしたもので、とても感心しました。

また、展示発表については、各教科の夏休みの課題や授業で作成した作品等も展示してあり、子どもたちのこれまでの学習の成果を見ることができました。各種コンクールに入選した作品も展示してあり、質の高さに驚きました。

来校していただいた保護者や来賓、地域の皆様、そして職場体験等でお世話になった事業所の皆様ありがとうございました。

